

## JSPEN参加報告

第26回日本静脈経腸栄養学会 名古屋国際会議場にて  
当院からはリハビリテーション科 杉江由美子さんが発表しました!

「摂食・嚥下障害患者が転院した療養施設での栄養療法に関して  
—当院NSTの役割—」

2010年4月から栄養サポートチーム加算が新設された事もあり、会場に入ることのできないセッションもできるほど参加者の多い熱気ある学会でした。

NST加算の現状と展望、がん治療を支える栄養療法、半固形化栄養剤の進歩など栄養療法についての最新情報を学び、ランチョンセミナーではあのフィッシャー比で有名なフィッシャー教授の講演を同時通訳で聞くなど最新の海外情報についても学ぶことができました。



医師1名、薬剤師4名、看護師1名、管理栄養士3名、言語聴覚士2名の計11名で参加しました。

栄養は医療の共通項目ですね。  
多くのコメディカルの参加がありました。  
NSTの役割をより明確にし、質の高いサポートができるよう一致団結して活動していきたいと考えています。

栄養を良くするだけでなく、命をどう生きるか自分でデザインできるようにサポートすることもNSTの役割だ!

99歳の日野原重明先生のバイタリティーある講演に圧倒・・・。  
身振り手振りですたまま1時間の講演をされたのです!  
大きなパワーを分けていただき、つい・・・写真をとってしまいました。

